

中部地方

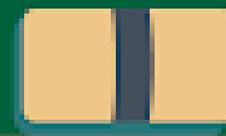
雪に育まれた伝統産業

月

日

曜日

日



今日の目標

北陸地方の産業が

自然環境や**地域の歴史**と

どのように関係している

のかをまとめよう。

月

日

曜日

日





①城下町 金沢市



石川県

金沢市

富山県

岐阜県

福井県

金沢市の歴史と伝統的工芸品

かつて、

加賀藩の**城下町**であった。

茶道などの**伝統文化**が

暮らしにとけこんでいる。

こうした文化は食品や料理、
伝統工芸の中にも生きている。

例：九谷焼、加賀友禅、
金沢仏壇、金箔など。



現在でも**伝統的工芸品**

として受け継がれている。

→北陸地方の各地に広がる。

※1の図をチェック！

②北陸地方の地場産業



1、北陸地方の長い冬
北陸地方の農家の間で、
長い冬の間副業が
盛んにおこなわれている。
→伝統産業になった。

2、伝統産業の発展

映像をみてみよう！！

⇒NHK for school 中部地方

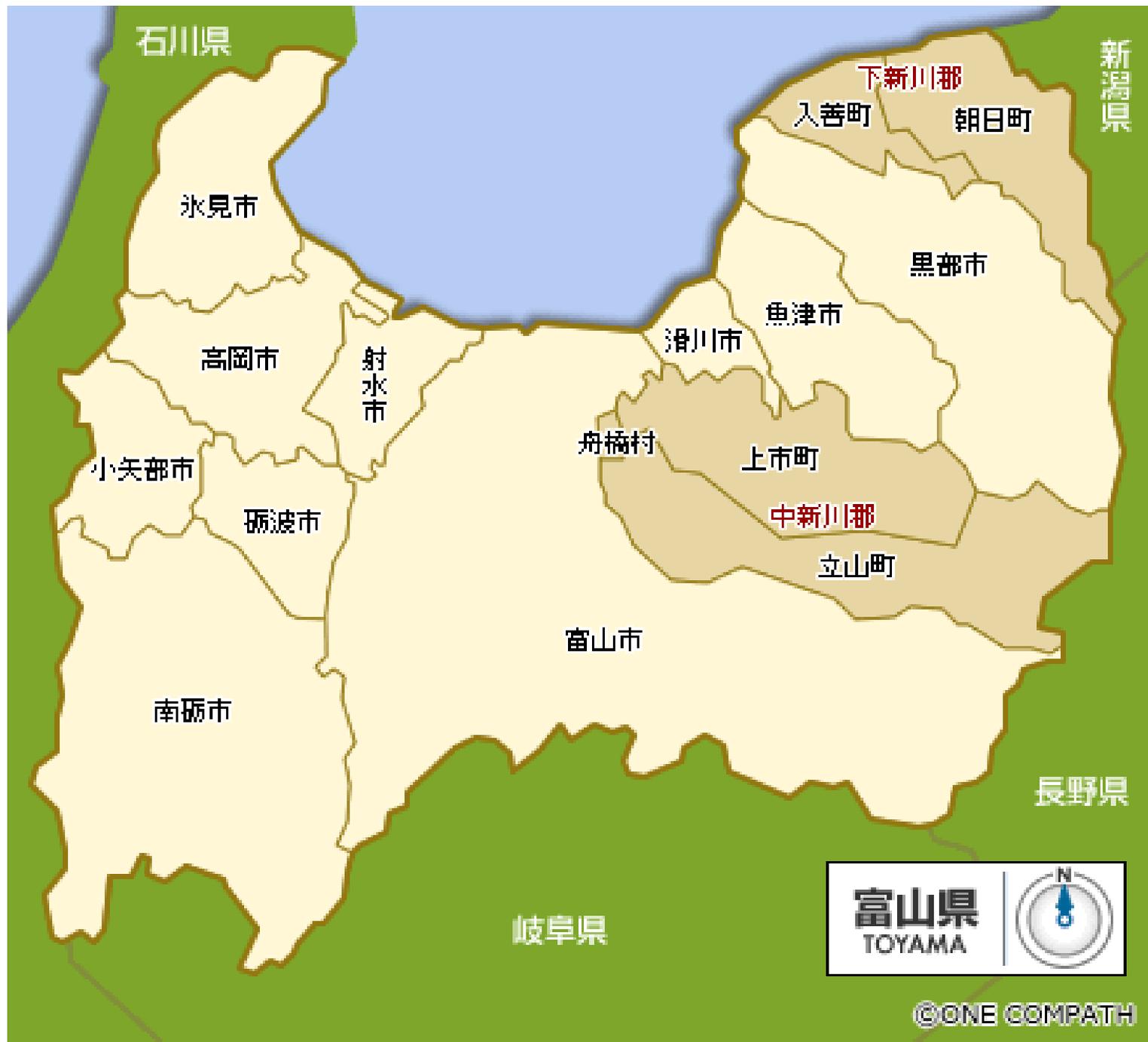
北陸地方 地場産業

映像を見ながら感想を

書くこと。

③北陸地方の近代工業





1、富山市の工業

黒部川などの

豊富な水資源による

電力と工業用水を利用した

アルミニウム加工など。



2、その他の工業

新潟県 金属・機械工業

金沢市周辺 機械工業

福井県、石川県 織物工業

④米作りの条件を整える

1、大河津分水路

越後平野は古くから

低湿地が広がっていた。

→洪水になると

水が引かない。



そこで、
大河津分水路をつくり、
干拓などによる土地改良が
おこなわれた。
→**水田地帯**となった。

干拓

水深の浅い

海・湖を干上がらせ、

人工的に土地を作ること。

2、北陸地方の農業

積雪期間が長いいため、

水田単作を行っている。

しかし、**減反政策**により
米の生産を減らしている
農家もいる。

今日の目標

北陸地方の産業が

自然環境や**地域の歴史**と

どのように関係している

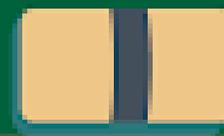
のかをまとめよう。

月

日

曜日

日



学習のまとめ

北陸地方で

長い冬の期間に

おこなわれていた**副業**が、

現在では伝統産業となつて
発達していったこと
がわかつた。

たとえば、三条市の金物や
鯖江市の眼鏡などは

地場産業として

地域を支えていることも

知った。

また、北陸地方の農業では
積雪期間の関係から、
水田単作をおこなっている
地域であることもわかった。

Q 1、傳統的工藝品